

1

松原用水は、永禄10年(1567年)に吉田城主酒井忠次の命により、八名郡橋尾村(現豊川市橋尾町)地先の豊川に堰が築かれました。幾度かの大洪水により流失しましたがその都度復旧し、今日まで450年にわたり連綿と受け継がれてきました。愛知県最古の農業用水施設です。

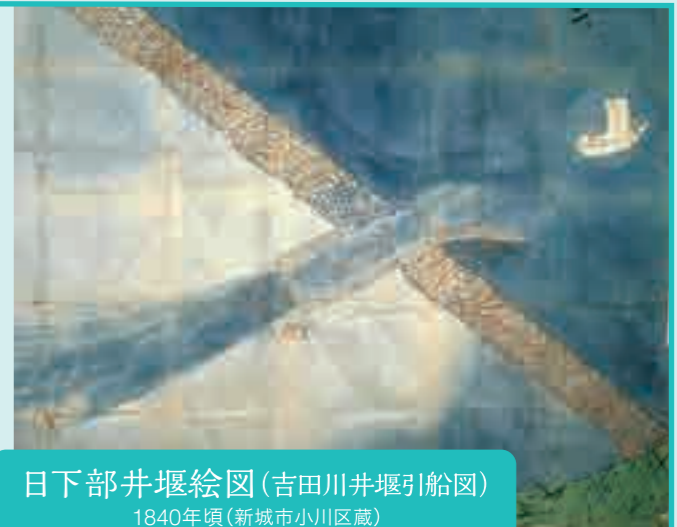


大和の大いちょう(豊津町)



照山分水工

一級河川豊川にある牟呂松原頭首工から取水された農業用水は牟呂松原幹線水路を5.3km流下して照山分水工で松原用水へ分水されます。



日下部井堰絵図(吉田川井堰引船図) 1840年頃(新城市小川区蔵)

2

**松原用水**

- 受益面積 / 632.0ha
- 組合員数 / 2,128人
- 組織の沿革 / 永禄10年 八名郡橋尾村に井堰を築立 明治41年 松原用水普通水利組合を設置 明治27年 松原用水土地改良区と名称変更
- 役員数 / 理事13名 監事 / 4名
- 水利施設の状況 豊津分水工、長瀬揚水機 場始め30箇所 水路延長 約9.5km(幹線) 取水量 農業用水 最大2.42m<sup>3</sup>/S
- 主要作物 米、大葉、ラディッシュ (H29.3.31現在)



大いちょう

豊津分水工



松原用水記念碑(大正7年建立)

● 前芝燈明台

● 瓜郷遺跡

3

- 主な事業(工期は事業全体の工期、事業数量は松原用水該当のみ表示) 牟呂松原頭首工 建設工事着手 昭和38年 牟呂松原頭首工 用水路改修 完成 昭和42年 豊川用水施設緊急改築事業 平成元年度~平成10年度 牟呂松原頭首工改築 県営かんがい排水事業 松原用水地区 昭和58年度~平成11年度 幹線水路9.5km 県営かんがい排水事業 松原用水第二地区 平成2年度~平成16年度 支線水路94.7km 小規模かんがい排水事業 松原用水地区 平成7年~平成19年



松原用水土地改良区 (水土里ネット松原用水)



豊川放水路を横断するサイフォン工事 平成9年

4

松原用水は牟呂用水とともに世界かんがい施設遺産に登録されました。世界かんがい施設遺産は、かんがいの歴史・発展を明らかにし、理解醸成を図るとともにかんがいの施設の適切な保全に資するために、歴史的なかんがい施設を国際かんがい排水委員会(ICID)が認定・登録する制度。



牟呂松原頭首工

5



大村八所神社

**むかしばなし**

昔の大村のあたりは沼や荒地で農業には困難な地でした。村人たちは田をつくり小川から水を引き一生懸命お米を作っていました。しかしある年、日照りでお米が作れず困り果て、村中の人々が一致団結し堰と水路を造ることにしました。それが松原用水の始まりとされています。なんとか完成して水を流そうとしたとき、大雨で堰が壊されてしまいました。そこで八人の庄屋が身を捧げることで無事に堰の完成を願う人柱となりました。その願いが通じたのか堰は見事に完成し水が流されました。その時、八つの人魂が流れる水を見送るように飛んでいたそうです。その八人の魂をお祀りしたのが八所神社といわれています。 ※諸説あります。

※注 現在の牟呂松原頭首工は日下部井堰とは違う場所に造られています。